

世田谷西部支部

令和 3 年 6 月 1 日発行

〒 156-0054

桜丘 2-6-3

TEL 3429-3271

6 月

天理教世田谷西部支部（東世分教会内）発行責任者 岡庭正行 編集 支部編集部

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

6 月 30 日（水）10 時より

会場 東世分教会

・教区ひのきしん

決定次第、支部長より担当組にご連絡させていただきます。

・婦人会例会

未定

社会状況に応じて判断します

支部例会は

しばらく

お休みです



<東京教区からのお知らせ>

○婦人会「女鳴物勉強会」延期のお知らせ

6 月 29 日（火）に予定されていた「女鳴物勉強会」は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、11 月に延期となりました。

○災害救援ひのきしん隊結成 50 周年記念大会参加対象変更のおしらせ

6 月 27 日（日）に予定されていた「天理教災害救援ひのきしん隊結成 50 周年記念大会」の参加対象が「教区長・教区隊長」に変更となりました。

「天理時報」の手配り開始は未定となっています

天理時報の手配り開始について、世田谷西部支部では、現状では再開未定となっております。

再開時期についてはご心配、ご相談を頂いていることと存じますが、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

支部ホームページについて

世田谷西部支部では、最新の情報をいち早く支部管内の皆様と共有できるよう、ホームページを運営しております。

行事については直前に変更になる可能性もありますので、情報の確認にご活用ください。

また、ホームページにあったら良いコンテンツや企画などのご意見、感想などもどうぞ気軽にお寄せください。



世田谷西部支部ホームページ
<https://tenrikyou-setagayaseibu.jimdofree.com/>



・羽根木公園月例ひのきしん

日時 5 月から 11 月までの毎月 22 日

午前 9 時半～11 時まで

会場 羽根木公園

※管理事務所付近にご集合ください
作業 草取り、掃き掃除等の軽作業

※カマ等は各自でご持参下さい

雨天中止、小雨の場合は、南豊島分教会、志村まで（TEL 090-3049-2749）



※緊急事態宣言発令中は、活動を自粛させていただきます。なお、感染症の拡大状況に応じて、直前に中止とさせていただきます。支部ホームページなどで必ず最新の情報を確かめの上、ご参加ください。

“暮らしの場”で教えに親しもう

天理教ホームページの「暮らしの場で教えに親しもう」から、今回は朗読動画「神様からの宿題」の中の「より豊かに生きるために」を紹介する。

筆者の宮崎伸一郎氏は、ある夏の朝、寝ぼけまなこで愛用の短パンを前後反対にはいてトイレに行ってしまった。私であれば、すぐに履き直したり、ただのうっかりミスで片づけてしまうところだが、宮崎氏は違った。なんと、「いつも何げなく身につけている短パンの後ろ姿をまじまじと見る機会に恵まれた」と受け取るのである。

「へえ～、こんなふうになってるんだなあ」と、むしろその状況を楽しんでいるかのよう。そこから宮崎氏はふと思いを巡らす。

「普段、私たちは自分の表側、言い換えれば他人に見せたり、認められたりしている部分だけを「これが自分だ」と思い込んでいることが多いのではないかと」。

そこから動画では、臨床心理士である宮崎氏が、ある不登校事例の中で、裏側や影になっている部分に目を向けることで、節から芽が出るように成長した家族の姿を描いている。

そして最後に、「おかげさまで」という美しい日本語を取り上げ、以下のように締めくくる。

自分の裏側の「影」を見るとき、人はまた、もう一つの「陰」、つまり、自分自身を目に見えない力で常に支えてくれている大きな「おかげ」にも気づくことができるのではないだろうか。そこから生まれる“感謝の心”が、人生のトラブルを乗り越える力になる。

自分に光が当たっているとき、自分が表に出ているときこそ、いかにその陰で支えてくれている「おかげ」があることか。そのことに強く気づかせてくれる。

朗読動画「神様からの宿題」は、各話約5分のYoutubeチャンネルであり、ラジオで放送した『神様からの宿題』（宮崎伸一郎著）を親里の風景とともに楽しむことが出来る。

12本の動画が用意されているが、教理を学ぶことはもちろん、優しい文章にぴったりと合うその語りによって心が癒され、視聴後にはとても良い時間を過ごしたと思わせてくれる。

是非、おうち時間で味わってみてはいかがだろうか。

動画はこちら
☆



寄稿

「存在」と「心使い」を分けて考える

八幡山分教会 島田宏樹

最近、「かしの・かりもの」を踏まえて、自分の「行い」「言葉使い」を反省する時に、大切にしていることがあります。

それは…

自分が失敗してしまった時に、自分の「存在」と自分の「心使い」を分けて考えるということです。

例えば、寝坊してしまったとして…

「寝坊」しない為の準備を怠ったことを「反省」します。

- ・前日にアラームを二重にセットしておけば良かった。
- ・前日に早く寝るようにしておけば良かった。

などの自分の「行動」つまり「心使い」を顧みる事は大切だと思うのですが、朝起きられなかった自分自身を「責めて」、その時の自分を「否定」してしまうのは「存在」を否定してしまうことで、言うなれば神様のからの「かりもの」を否定してしまうことになるのではないかと考えています。

朝起きる為の準備を怠けたのは、自分自身の「心使い」ですが、朝寝坊してしまった自分の「存在」(＝失敗してしまった自分の「存在」)は、神様からの「かりもの」なんだと思います。

そもそも「自分」が「存在」しているのは、「かりもの」である「身体」があるからで、失敗してしまう「自分」というのも、実はその匂々に応じて必要な神様からの「御守護」なんだと思うんです。

失敗した「自分」っていう存在は、神様のモノで、失敗に至るまでの「行動」や「準備」っていう「心使い」は自分のモノなんだと思えたんです。

だからこそ、失敗した自分という「存在そのもの」と「失敗に至るまでの心使い」は分けて考えた方が「かしの・かりもの」の本質に近づけるのではないかなと思うんです。

「自分のモノ」と「神様のモノ」とを「ごちゃ混ぜ」にするから心が苦しくなるんだと思えたら、本当に心がスーッと晴れて、今まで否定し続けていた「自分」って存在も少少だけ「好き」になれました。

本当に些細なことかも知れませんが、自分の失敗を顧みる時に、自分の「存在」と「心使い」を分けて整理すると心が少し軽くなって、「心使い」の改善も前向きになれて、陽気ぐらしに近づいていけるような気がしています。

